

【年間テーマ『働く私たちの QOL を高めるために』】

平成 30 年 6 月 15 日提出

| | | | | |
|--------------|--|--------------------|---------------|-------------------|
| 日付 | 平成 30 年 6 月 9 日 (土) | | | |
| 場所 | 天神福岡ビル 9 階 | | 記録者名：原 佳子 | |
| 出席者 (敬称略) | 有吉病院 福本京子 | 西福岡病院 (西寿) 高岸珠美 | 水城病院 池田良子 | 東福岡和仁会病院 坂田加代子 |
| | 東福岡病院 佐藤和代 | 津屋崎中央病院 小川絹代 | 松尾内科病院 原佳子 | |
| テーマ | ベッドサイドのケアを充実させるために | | | |
| 結論 | <p>ベッドサイドのケア充実のための工夫点を各施設出し合った。 大きく以下の 3 点に分けることができた。</p> <p>① 時間を作るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の分化→アシスタント、メッセージャー、雑務担当のケアワーカーを配置 ・リネン交換は短時間のパートの方に、清掃業務は業者委託にした。 ・記録時間の短縮 ・申し送りの在り方の改革 (申し送りの基準を決める) <p>② 業務のやり方の工夫</p> <p>(必ず行かなければならない状況、その時ですぐできる状態をつくる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・爪切りを各自携帯する。眼拭用の綿花を床頭台に準備→適時に適切なケア ・ケアプランのチェック表、フローシートの活用 <p>(必要なケアをチェックし、必ずベッドサイドで行うようにする)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームでの確認作業、担当決め ・記録を病室で行う。 ・オムツ交換は看護師も行う。 ・短時間のレクを毎日行う。 <p>※①②に共通して業務マニュアルの見直し</p> <p>③ 看護・介護の質を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強会を開催し、自分たちの力量 up ・少数のユニットを大切にケア | | | |

| | |
|---------------|---|
| <p>決定事項</p> | <p>・ベッドサイドのケアを充実させるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 時間の確保 ② 業務の見直し ③ 質の向上 <p>の3点について、今後も継続して取り組むこととする。特に「ケアの質」は、管理職の力量がスタッフに影響を及ぼすことを考えると、常に自身を高めていく姿勢が必要である。</p> <p>また、昨今の社会情勢から今後の療養病棟の在り方を考えるに、認知症に対する理解が不可欠である。管理職として認知症ケアにどう取り組んでいくか、どのように、スタッフに教育していくか、カンファレンスの在り方などを、次回検討することとする。</p> |
| <p>次回討論項目</p> | <p>認知症ケアへの取り組み</p> |

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp (FAX.092-691-3961)